

つたのミニネットワーク

ミニネットワーク
No.40

謎の分数

黒板のすみっこに分数を書きおきます。たとえば「 $\frac{8}{30}$ 」という具合です。

次に、子どもたちに「この分数は何を意味するかわかりますか?」と聞き、いろいろ意見を出させます。

最後に教師が答えを発表します。たとえば「靴箱に下靴がきちんとそろえてあった人の数です」といったようにです。

そう、これは教師が子どもたちにさせたい「理想イメージ」の達成状況を表す数字なのです。この場合は、「クラス30名中、下靴をそろえていたのは8名」ということを表しているのです。

達成状況を分数で表示する方法は、ほかにもいろいろなことに利用できます。「宿題を提出した人」「姿勢の良い人」「大きな声であいさつができた人」などなど。この

ようにして数値化して見せることで、状況は翌日改善さ

れているはず。そのときは、子どもたちをきっちり褒めてあげます。「おつ! 30

分の15ですね! あと半分だね。頑張つて!」などのよ

うにです。

5年生なら「30分の15 = $\frac{15}{30} = 0.5$ で、これに

100をかけて50%だね」

など、小数や百分率を引き

合いに出し、算数の学習につな

げていくのもいいでしょう。

